

マイナビ転職、「副業に関する意識調査」を発表

**副業の希望収入は平均「132,546円」に対して、実際に得ている収入は平均「59,782円」
希望と実態のギャップは「72,764円」で半分に届かず**

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行）が運営する総合転職情報サイト『マイナビ転職』は、副業経験または副業意向がある会社員・公務員 800名を対象に行った「副業に関する意識調査」の結果を発表しました。コロナ禍で副業の注目が高まるなか、副業を始めた理由や収入、実際に副業をした際の評価・実感などについて調査しました。

《TOPICS》

- ◆副業経験者が、副業で得たい収入平均は「132,546円」。一方実際に得ている収入の平均は「59,782円」。金額差は72,764円となり、希望の半分に届かない結果に【図1】
- ◆副業を始めた理由は、金銭的不足・不安の解消。可処分所得を増やしたいという回答が5割以上。一方、将来への備えや収入への不安を挙げる声もそれぞれ4割を超える【図2】
- ◆副業に「満足」と回答した副業経験者は6割を超える。思うように収入を得られていないものの、「やりがい」や「視野・人脈の広がり」が満足感につながっている【図3、4】
- ◆副業で実現したいことを転職でも実現できると回答した層は約3割。20代が最も多く4割超え【図5】

【調査結果の概要】

副業経験者が、副業で得たい希望月収は平均132,546円。これに対し実際の月収は平均59,782円。希望と実態の差は72,764円で2倍以上の大きな乖離があることがわかった。【図1】

副業を始めた理由は、「小遣い・趣味に使える収入を増やしたい」52.8%、「将来への備え・貯金を増やしたい」48.3%、「将来の収入への不安を感じた」40.4%がトップ3で、4位以下と大きく差がついた。副業を通して、収入を増やしたいと考えている人が多いことがうかがえる。これに対し、スキルアップや人脈作りなど、キャリア形成やライフワークへの期待から始める層はそれぞれ2割程度に留まる。【図2】

副業に「満足」と回答した副業経験者の割合は65.5%で、「不満」は1割に満たなかった。満足している人は、希望の収入には届かないものの、「やりがい」や「視野・人脈の広がり」を得られることにメリットを感じているようだ。【図3、4】

副業で実現したいことを、転職することで実現できるのかという質問に対し、「実現できる」と回答した人は約3割。見込める収入や生計が立てられるかどうかを考えると、現在の仕事を続けつつ、あくまで副業としてやりたいという回答が目立った。年代別に見ると、20代では「実現できる」の回答が4割を超え、転職することで自己実現を目指す割合が他の年代より高い結果となった。【図5】

【総評】

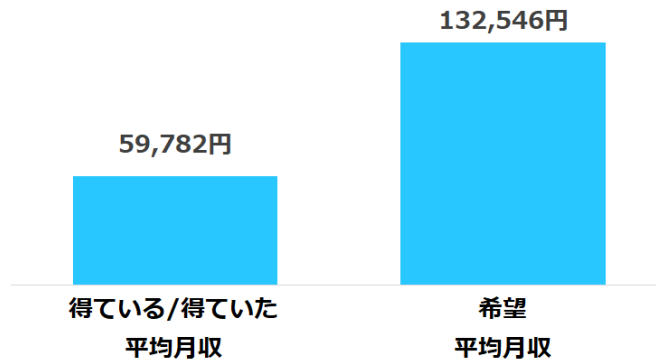
政府によるモデル就業規則の改定を契機に企業の副業解禁の流れが広まってから3年、新型コロナウイルスの影響で雇用の不安定化もあり、社員の副業を認める流れが加速しました。昨年実施した人事担当者を対象にした当社調査^{*}でも「社員の副業を認めている」という回答は約5割にのぼっており、2021年も副業を推奨する流れは続いていくと考えられます。ただし、企業側の導入理由のトップであった「収入補填」について、副業で希望する収入を得るのは難しいということが今回の調査でわかりました。

とはいえ今回の調査で、副業を経験した結果「生きがい・生活に充実感を感じるようになった（12.9%）」「新たに習得したいスキルができた（11.0%）」「知らなかった自分の適性や得意なこと・スキルに気づいた（10.5%）」という回答も見られ、副業がきっかけで自己成長や新たな仕事適性、やりがいなどに気付くケースもあることがわかりました。自身のキャリアや仕事との向き合い方に悩んだ時に、視野を広げ仕事の価値観を見直すことを目的に、副業をやってみるという選択肢も有効だと考えます。企業もより人材を活かすために、社員に副業を認めるだけでなく、副業で得た知見やスキルを本業に還元する仕組み作りをしていくことが求められます。

※「働き方、副業・兼業に関するレポート（2020年）」（https://www.mynavi.jp/news/2020/10/post_28795.html）

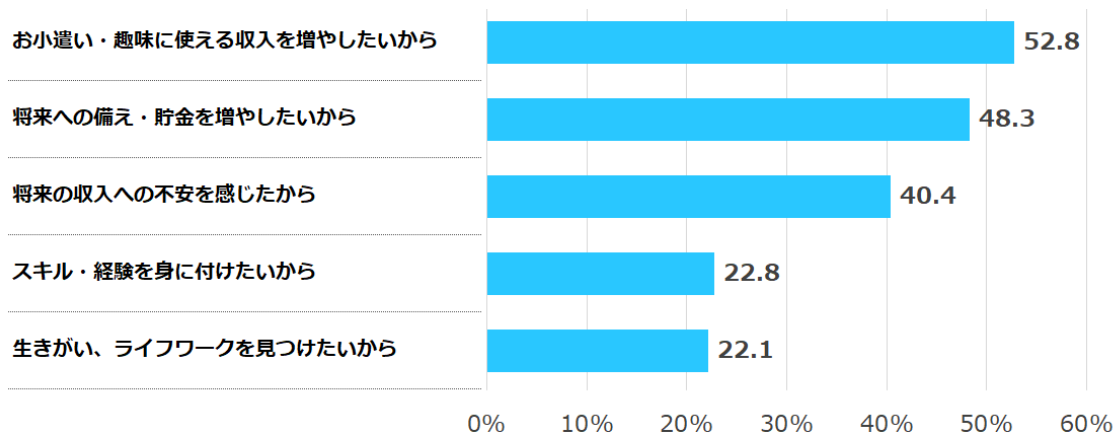
『マイナビ転職』編集長 荻田泰夫

【図1】 副業で得ている/得ていた月収と希望月収（数値回答）



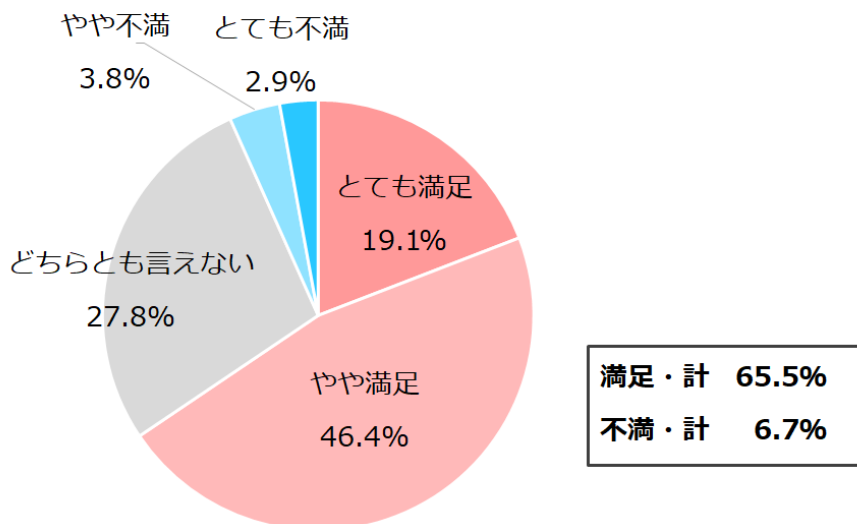
全国 副業経験がある20～59歳の会社員・公務員 n=209（※）
 ※わからない/答えたくない回答者及び外れ値は除外し集計を実施

【図2】 副業を始めたいと思った理由（複数回答）※上位抜粋



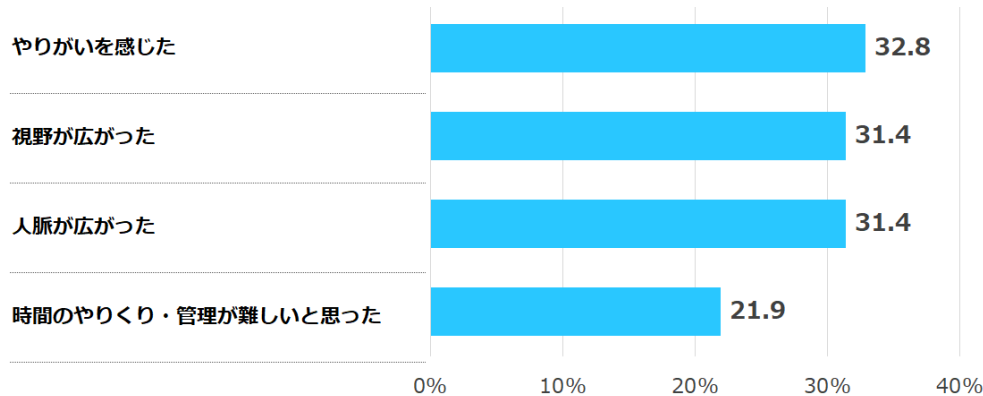
全国 副業経験または副業意向がある20～59歳の会社員・公務員 n=800

【図3】 副業を実際にやってみて、満足しているか（単一回答）



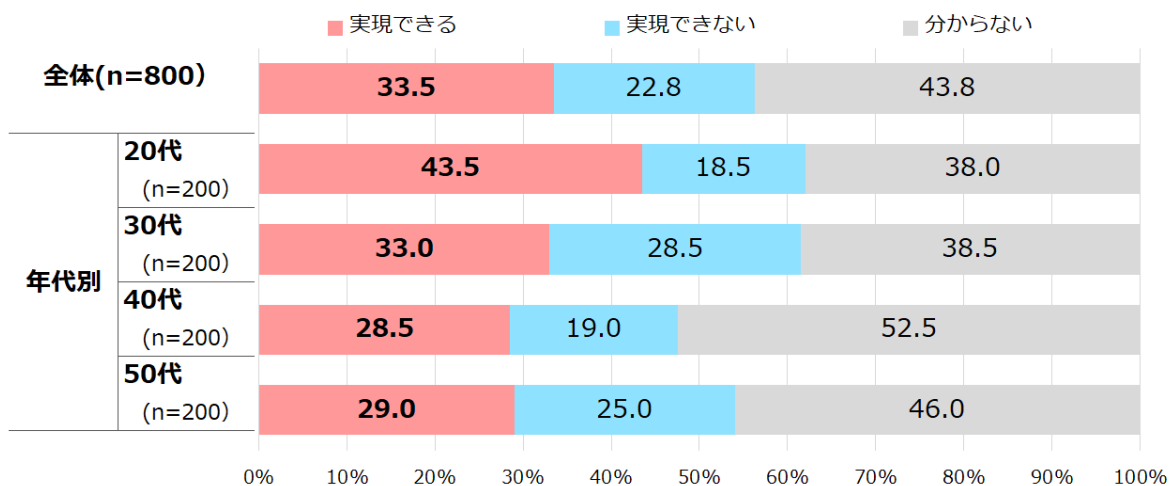
全国 副業経験がある20～59歳の会社員・公務員 n=209

【図4】副業を実際にやってみて、どんなことを感じたか（複数回答）
※副業に満足している層の上位抜粋



全国 副業経験がある20～59歳の会社員・公務員 副業に満足している層 n=137

【図5】副業で実現したいことを、転職し本業として実現できると思うか（単一回答）



全国 副業経験または副業意向がある20～59歳の会社員・公務員 n=800

【調査概要】マイナビ転職『副業に関する意識調査』

調査期間：2020年11月13日（金）～11月16日（月）

調査方法：3年以内副業経験、または副業意向がある会社員（正社員）・公務員を対象にWEB調査を実施
有効回答数：800名（内訳：20歳～59歳の年代ごとに200名）

※グラフの内訳は端数四捨五入の関係で合計数値と合わない場合があります

※今回の調査では、副業収入の詳細、副業から得られること、副業の難しさなどを同時に調べています。

調査結果の詳細は下記「マイナビ転職 キャリアトレンド研究所」で公開しています

<https://tenshoku.mynavi.jp/knowhow/careertrend/05>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
転職情報事業本部 サイト運営第2部
コンテンツ企画課
Email：mt.conts@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
社長室 広報部
Email：koho@mynavi.jp
※『マイナビ転職』編集長への取材依頼はこちら